

伊保地区 支え合いづくりニュース 11号 令和8年8月

伊保地区支え合いづくり協議会

会長 加茂 朋之

事務局:高砂市社会福祉協議会 地域福祉課

第2層生活支援コーディネーター

電話 079-443-3725

高砂市内の支え合いづくり協議会では、誰もが安心していきいきと暮らし続けられる地域を作りあげていくために、その地区ならではの『支え合いづくり』を進めています。

伊保地区でも、地域に必要なことはなにか、地域の中で今どんな課題があるか、『こうなったらいいね!』を形にできるよう、また高齢者が元気なうちから、社会参加や外出など生きがいを持って過ごせるよう、仕組みづくりについて話し合っています。

【協議会の参加団体】

町福祉推進委員会、地区連合自治会、地区民生委員・児童委員会、地区老人クラブ連合会、
播磨薬剤師会



7月17日(金)支え合いづくり協議会役員会にて高砂市高齢者等見守り・SOS ネットワーク模擬訓練を実施しました。

高砂市では認知症高齢者等を日頃から地域で見守り、生活の中での目配りや、ちょっとした声かけなどに加え、あんしん見守りネットワークを活用することで、行方不明者を早期発見できる仕組みづくりを推進しています。

模擬訓練では、認知症高齢者が行方不明になったと想定し、メール配信から捜索協力依頼解除まで受け取り体験を行いました。グループワークでは、どんな声かけがふさわしいか、声をかけた後、どのように行動すればいいかを話し合いました。



捜索協力依頼メール配信



発見・保護



捜査協力依頼解除

模擬訓練の目指すものは ①地域住民が認知症を正しく理解する ②認知症の人に声をかけ、適切に対応できる ③認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域をつくることです。

★救急医療情報キットご存じですか?

「かかりつけ医」「医療情報」「薬剤情報提供書(写)」等の医療情報や「緊急連絡先」「支援事業者」等の情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管しておくことで、万一の救急時に備えるものです。

★救急医療情報キットとは?

社会福祉協議会では、70歳以上のひとり暮らし高齢者等を対象に、かかりつけ医等の医療情報や緊急連絡先などの情報を収める『救急医療情報キット』を配付しています。

★キットはどこでもらえるの?

①民生委員児童委員の要援護者実態調査(～11/30)訪問時に、対象となる方に配付します。

②お持ちでない方で必要だと思われる方は、社会福祉協議会地域福祉課で申請できます。

(原則1世帯に1セットを無料で配付します。詳しくは、地域福祉課(079-444-3020)まで。



伊保地区の活動を一部紹介

令和8年5月12日(火) 伊保西部自治会館

西部いきいきサロンが開催されました。この日は紙コップと麻ひもを使用し花籠を作成。紙コップで作ったとは思えない花籠が出来上がりました。福祉委員さん、民生委員さんが細やかなサポートをされ、細かい作業ながら、あっという間に作られる参加者もありました。完成後はティータイムを楽しみ交流を深められました。



令和8年6月2日(火) 梅井自治会館

梅井いきいきサロンが開催されました。

あいにくの雨にもかかわらず、多くの地域住民が徒歩にて来場されました。曾根地域交流センターで練習している大正琴サークル「さくら」の中に梅井の民生委員がおり、このたびの演奏会につながりました。約1時間、大正琴の演奏に合わせ9曲を歌い、アンコールの声援もあがりました。

参加者は、「知っている歌ばかりで楽しい」「いつものカラオケと違って生演奏はいいね。きてよかったね」と喜ばれました。



中部老人クラブ・カラオケ

新曲は全員で練習♪



中部老人クラブ・ヨガ

腰痛が改善された方もいます！



東部高年クラブ

スマホ教室を受講されました。



梅ノ井サロンいきいき百歳体操

おしゃべりも元気の源♥



梅井ユースアイクラブ・グラウンドゴルフ

自治会館で輪投げの練習もしています。



高須いきいき百歳体操

男性も多く参加されています！

伊保地区のみなさんへ

今後もみなさんの様々な活動をニュースでお知らせします。『こんな活動があります！』等の情報をいただくと嬉しいです。

ご連絡は、高砂市社会福祉協議会・生活支援コーディネーターへお願いいたします。【電話】079-443-3725

